

宇部市本庁舎建設に関する提言

平成27年12月1日

宇部商工会議所

宇会総発第 73号

平成27年12月1日

宇部市長

久保田后子 様

宇部商工会議所

会頭 安部 研一

「宇部市本庁舎建設に関する提言」について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

宇部市本庁舎の建設につきましては、平成26年4月リリースの「本庁舎建設に係る基本的な考え方（素案）」、平成27年3月リリースの「宇部市本庁舎建設基本構想～本庁舎の建替えに向けて～」を経て、現在「宇部市本庁舎建設基本計画検討委員会」で「基本計画」を作成中です。この間、市民委員会からの提言書、市議会特別委員会の報告書が提出され、パブリックコメントや市民ワークショップ、市民アンケートが実施されました。今後のスケジュール（案）は、以下の通りです。

平成27年度：基本計画

平成28年度：基本設計

平成29年度：実施設計

平成30年度～32年度：建設工事

平成33年度：供用開始

商工会議所は基本計画策定より検討に参画し、検討委員会における議論の中で、いくつかの問題提起をして参りました。この度それらをまとめたものをお示し致しますので、ご検討の程よろしくお願い致します。

敬 具

宇部市本庁舎建設に関する提言

1. はじめに（商工会議所の基本スタンス）

商工会議所は基本的に本庁舎建替えについて反対するものではありません。建家の老朽化が進んでいるのは事実ですし、使い勝手が時代に即していないのも又事実です。

本庁舎を建替えることになれば、地元の工事業者等は潤います。また、新しい庁舎が建つことによって人の流れが変わり、商店街が賑わうことになれば、これは大いに結構なことです。

2. 建設時期について

平成 33 年度は市制 100 周年に当たる記念すべき年です。今後のスケジュール（案）は平成 33 年度供用開始から逆算して設定されていますが、市制 100 周年に合わせて供用開始する必然性はありません。少なくとも平成 32 年開催の東京オリンピックがらみの建設工事費急騰が収まるまでは着工を待つべきです。デザインパッケージが完成した時点で一旦中断（着工延期）するのもひとつの方法だと考えます。

3. 本庁舎が持つべき機能について

将来的に本庁舎が持つべき機能、支所や市民センターが持つべき機能について、議論を深めていく必要があります。くれぐれも現業務・現人員の延長線で設計仕様書をつくってはなりません。宇部市の人口動態、ICT の進化、マイナンバー制度の導入等、考慮すべき項目は数多くあり、統合すべき機能、分散すべき機能の整理が必要です。現業務を究極まで合理化した上で付加すべき新機能を盛り込むのが本筋です。

4. コストコントロールについて

新庁舎の仕様はしかるべき時期に確定し、それと共に実行予算を設定しなければなりません。走りながらの仕様変更は間違いなくコストアップにつながります。

宇部市には使える合併特例債はなく、積立金だけでは到底建設資金は賅えませんから、建設コストは可能な限り切り詰める必要があります。一方で必要な設備に金を惜しんではなりません。明確なフィロソフィーを持って、メリハリのある金の使い方をして頂きたいと思います。

5. 市民の理解を得ることについて

本庁舎の建替えについては、残念ながら現時点まだまだ市民の関心が薄いと言わざるを得ません。巨額の建設資金を使うことについては、当然ながら市民の皆さんに納得して頂く必要があります。各種メディアを使ってわかりやすい説明をして頂きたいし、市議会でも大いに議論して頂きたいと思います。

6. おわりに

宇部の身の丈に合い、かつ独自性のある市庁舎とは？一度立ち止まって、ゆっくり考えてみませんか？

以上